街と人とをつなぐ、地域情報紙

平成２４年４月１日号

むれコミュニティ協議会

http://wwwc.pikara.ne.jp/murecomm/index.html

事務局　高松市牟礼町大町１４６３－２
大町コミュニティセンター
TEL:087-870-1306　FAX : 087-870-1307

牟礼支所・コミュニティーセンター等建設工事

着工！

平成23年12月、高松市は牟礼支所・コミュニティセンター等建設工事を建設会社に発注し、工事に着手したことを公表しました。平成24年2月2日には、安全祈願祭も行われ、高松市副市長、県議、市議を始め、むれコミュニティ協議会正副会長や牟礼地区地域審議会委員も出席して厳かな神事が執り行われました。平成24年度に現在の牟礼支所敷地内の西側駐車場部分に建物を建設し、平成25年度に現在の牟礼支所庁舎を解体撤去する予定としています。

高松市によりますと、牟礼支所等建替えの全体計画は三段階に分かれており、一段階は、新支所・コミュニティセンター等の建設工事で、工事期間は平成23年12月19日～平成24年12月末までとなっており、工事完了後、支所等の引越しを行って平成25年春頃には新支所等がオープンする予定です。その後、第二段階として、平成25年度に既存支所の解体撤去、最終の第三段階として、既存支所撤去部分の外構等整備工事を行っていく予定としています。

建設される牟礼支所・コミュニティセンター等の外観イメージとしては、地域の核としてのコミュニティセンターの存在感を持たせるため、五剣山や屋島に対比させるよう、部分的に勾配屋根を採用しています。アプローチの腰壁や正面玄関廻りの壁は庵治石を仕上材として使用しており、自然の材料である庵治石に調和するような淡い自然色であるアースカラーを外壁に使っています。また２階の機械設備関係の目隠しルーバには木調の材料を用いることによって、全体的にあたたかみのある外観としています。

建物の概要

鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造２階建て、延べ面積約１，４５０㎡

★一階

＊コミュニティセンター

２分割できるホール、２分割できる会議室・、会議室・、調理室、事務室等

＊牟礼支所

支所事務室、２分割できる支所会議室等、

★二階

＊保健センター・地域包括支援センター

２分割できるホール、歯科相談室、歯科診察室、小児科診察室、相談室３室、授乳室等

工事期間中に牟礼支所を利用する皆様へのお知らせ

工事期間中は工事車両が頻繁に出入りし、危険であることから、国道側に警備員を1名配置し、歩道通行者の安全を確保するとともに、工事区域内への一般者の立ち入りが禁止されています。

今回の工事に伴い、牟礼支所庁舎西側の既存駐車場が利用できなくなるため、牟礼郵便局の東側に臨時の駐車場が確保されています。場所等の詳細は、ほっとつうしん1月1日号に掲載していますので、ご確認ください。

眉間山白毫院“六萬寺と源平合戦”（前編――六萬寺の歩み）

六萬寺は、牟礼町田井を見下ろす小高い丘にあり、７３０年聖武天皇の時代に建立され、当初は国豊寺といわれていました。その後六万戸の檀家に、一戸一軀の仏像を奉納させ、安置して六萬寺と称した。当時は、42支院を持つ大きな寺であったといわれています（現在は、その檀家は無い）。

・７８２年　弘法大師が当寺で千手観音様の像を刻み、五剣山に安置して当寺の奥の院としました（今の八栗寺）。

・寿永２年（１１８３年）９月安徳天皇の行在所となりました。

・１３２９年　後醍醐天皇が鎮守勝軍地蔵の本社を建立。高松頼重がその奉行をしました。

・１５８３年　長曽我部元親が八栗城を攻める時六萬寺に陣宿し、源平の寄進・由来などに感動し、寺を大切に守るよう命じて出立。その直後土佐兵の不始末から諸堂塔は消失しましたが、焼け跡から勝軍地蔵の刻像（約50ｃｍ）が出現したので、祠をつくって安置しました。

・１６７７年田井の豪農中村伊右衛門休英（よしひで）が土地を寄付しました。このことを源英（松平頼重）が褒聴され仏堂を建立させ、阿弥陀仏を安置して再び六萬寺と称し現在に至るといわれています。

・昭和16年（１９４１年）県が六萬寺等を源平合戦跡に指定。

現在、４月第四日曜日：安徳天皇慰霊祭。９月秋分の日：愛宕権現社秋祭りに鎮守勝軍地蔵へ子供神相撲奉納。　毎月24日：勝軍地蔵縁日　護摩祈祷（源平屋島の合戦の折、源義経が当山鎮守勝軍地蔵に戦勝祈願をして応験を得ました。その時義経自らが祀ったと伝えられている源氏不動明王です。皆様からの合格・家内安全など各ご祈願を承れています）。このような地域の由緒あるお寺を訪れて見てはいかがでしょうか。

住　職：岩井勝善・寿妙

所在地：牟礼町牟礼１４５０

☎　８４５・７２３３

六萬寺の本堂・客殿

お金の作文で　文部科学大臣賞！

金融広報中央委員会が主催する第44回「お金の作文コンクール」で、牟礼中学校2年の細川莉穂さんの作品「理想なお金の使い方」が最高賞の特選・文部科学大臣賞に輝きました。東日本大震災の募金を通じて自分のお金の使い方を見直した内容で、身近な体験から社会性に視野を広げて考えている点などが評価されました。同時に牟礼中学校も学校賞をいただきました。

私が、自分自身のお金の使い方を見直すきっかけになったのは、あるおばあさんの新聞の投書欄を読んだからです。そのおばあさんは、東日本大震災の募金活動に定期的に参加しており、たった一回の募金をして満足していた私の心に強く響きました。自分のことだけに使う使い方以外に自分も相手も幸せになる使い方があるということを感じさせられました。募金は被災された方々にお金だけでなく私たちのあたたかな気持ちまで届けることができます。東日本大震災という悲しい出来事が起こり、たくさんの方々が困っている時だからこそ、もっとお金の使い方を見直していかなければならないと思いました。直接、被災地へ行ってお手伝いすることができなくてもたくさんの人の思いがつまった募金を送るだけでも、被災された方々の励みや力になれると思います。私もこれから、募金などの自分も相手も笑顔になれる、そんなお金の使い方をしていきたいと思います。

細川　莉穂

香川菊池寛奨励賞

3年連続、牟礼からの受賞！

菜切自治会の古屋周平（本名・藤本靖）さんが時代小説「お勢衣（せい）」で第47回香川菊池寛賞奨励賞を受賞しました。今回の応募総数は52編。一昨年の高橋大智さん、昨年の太田貴子さんに続き3年連続の牟礼からの受賞です。古屋さんに喜びの言葉を頂きましたので紹介します。

この度、歴史ある香川菊池寛賞の奨励賞をいただくことになりました。初めて書いた作品でしたが、選考委員の高城先生からは、近松の世話物のような面白い作品と評され、感激いたしました。

今回、高松を舞台にした商人の世界を描きました。厳しい継母に育てられた主人公お勢衣が、心の支えにしていた隠居から、お勢衣の店の立て直しのために、隠居の次男を婿に入れられ、それをきっかけに、苦難の人生を送ることになります。隠居の好意が次第に周囲を不幸にしていく物語です。でも、最後は、隠居との幸せなひと時を過ごし、前に向かって生きていきます。

時代小説としたのは、当時、遊びなどもあまりなく、身分制度や世間体に縛られる息苦しい時代に、精一杯生きて行く人達を描きたかったからです。

一月末の記者会見では、多くのテレビ局で放映され、たくさんの人からお祝いの言葉をいただきました。とても感謝しています。次回も、江戸時代の市井ものを書くつもりですが、その際は、牟礼村を登場させたいと思っています。

古屋周平

牟礼・エルバートン交流30周年記念事業

牟礼地区の方には、おなじみのエルバートン市ですが、実際に行った方が皆さんの周りにいらっしゃいますか？学生時代にエルバートンに行った事をきっかけに海外で会社を経営している人や英語が大好きになって英語の先生になった人、色々な青春がエルバートンにはあります。懐かしさがこみ上げてきた方はエルバートン市のホームページをクリック！あの頃のあなたに会えます。

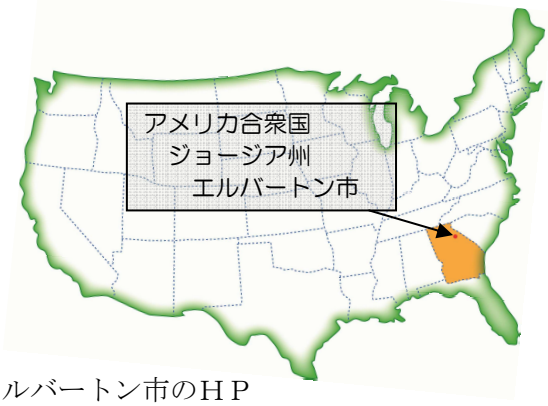
懐かしい友達に再会したい！いったいどんな所なん？などなどいろいろなお問い合わせがあります。そんな皆さんに朗報です。交流30周年記念事業として市民訪問団を結成してエルバートンに行く事になりました。出発は10月中旬詳細につきましては、事務局（090・2890・2006）までお問い合わせ下さい。

牟礼・エルバートン親善委員会
会長　中村 節朗

アメリカ　ジョージア州　エルバートン市

「世界の花崗岩の首都」と呼ばれるほど石材業が発展しています。高い山はあまりなく、広大な緑の中に人々の住む街がひっそりとあります。近くには巨大な石版にメッセージが刻まれたガイドストーンや、彫刻が彫られた巨大な石の山・ストーンマウンテンがあり、観光スポットとなっています。

●人口　4，700人／面積　9平方Km／平均気温　21度／公立学校　7校



エルバートン市のＨＰ
http://www.cityofelberton.net/sistercity/index.htm

イベント・行事等（H24・4月～6月）

☆はらハラ腹相撲
・日時：4月8日（日）9：30～
・場所：幡羅八幡神社
・主催：幡羅祭組
軽食バザーも企画しておりますので、皆さんご参加ください。

☆あじストーンフェアー2012
・日時：5月12日（土）9：00～17：00
　　5月13日（日）9：00～16：00
・場所：サンメッセ香川
・主催：協同組合庵治石振興会

☆「コーロ・ルーチェ牟礼」１０周年記念コンサート
牟礼公民館登録団体「コーロ・ルーチェ牟礼」も結成以来１０年を迎えました。この節目の年に下記のように記念コンサートを開催いたします。
ご近所お誘い合わせて、ご鑑賞下さいますようご案内申し上げます。入場は無料です。
・日時　平成24年4月15日（日）13:30～
・場所　石の民俗資料館エントランスホール
・問合せ「コーロ・ルーチェ牟礼」
　　実行委員　鈴木（087-845-3747）

ほっとつうしん編集局員の募集！

むれコミュニティ協議会では、本誌の編集局員（ボランティアスタッフ）を募集しております。むれのホットな情報を集めたり編集会議に参加してもらいます。出版は年４回。興味のある方、新聞等の編集に携わっておられた方、参加をお願いします。
連絡先　大町コミュニティセンター
087-870-1306（片山）

☆白羽神社のお祭り予定
・春祭り　5月15日（火）　14:00～
・夏越し　7月24日（日）　17:00～
・秋祭り　10月7日（日）　10:00～

道の駅 源平の里 むれ
春祭りのイベント

実施日　平成２４年４月１５日（日）
時　間　１４時～１５時

お願い
アクロバット飛行により、セスナのエンジン音が大きく聞こえる場面があるようです。また、アクロバット飛行を見て、不安を抱く方もいるようですが、安全には十分配慮していますのでご安心ください。ご理解とご協力をお願いします。
※悪天候の場合は中止（当日判断）
お問い合わせ　道の駅　源平の里　むれ
TEL 087-845-6080　FAX 087-845-6083

ほっと通信 ご近所の自然

３～５月頃、山林の中で薄いクリーム色で芳香がある奇麗な花を見かけることがあります。
秋には中華料理の香辛料『八角』に似た実をつけます。実は猛毒で、口にすると命を落とす危険がありますから要注意です。これは仏前に供える定番の植物『シキミ』です。

編集後記

昨今、携帯電話の普及は目覚ましく、目をみはるものがある。特に若者は殆どどこでも誰でも、いつでも、携帯をいじっている。また、高齢者も大体の方が持っているように見受ける。
携帯は確かに便利で、もう「持たない」という選択肢は「無い」といっても良いほどである。が、ふと立ち止まって考えるとマイナスの要素も無いとは言えない。ゲーム依存症になる、子供の授乳中も携帯を話さないお母さん、家の中でも携帯で会話する夫婦等々、こんな話を耳にすると、人間同士顔（目）を見ながらのコミュニケーションはどこへ行ったのか？一番大切な何かが壊れつつあるような気がする。今日の新聞の投稿欄に19歳の若者が携帯依存に疑問を投げかける意見を載せていた。
ちょっと、ほっとした気分になった。